

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	人権文化祭開催事業		担当部署	健康福祉部 人権推進課 人権福祉センター	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市人権条例・鳴門市隣保館 条例	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	昭和 <input type="text" value="49"/> 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期
(小項目)		人権			
施策	1	人権の尊重			
基本事業	1	人権行政の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民、行政機関、学校、企業、NPO法人、社会福祉法人、団体など						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	保育所・幼稚園・小・中・高等学校・社会福祉法人・NPO法人・市民等及び行政による人権問題に関する作品の展示や人権劇・講演会などを通じて、市民等の人権問題の存在とその解消に向けた取り組みや人権尊重の大切さを理解し行動していただくことにより、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題が解消されるとともに、人権が尊重されるまちづくりに取り組む。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	平成25年度の人権文化祭での参加者の感想やアンケート結果などをふまえ、より一層充実した内容と多くの市民の方々が参加していただけるような文化祭の開催を目指す。そのために、NPO法人や社会福祉法人等からの作品展示の要請を継続するとともに、鳴門教育大学への展示作品への参加についても要請して内容の充実を図り、第41回鳴門市人権文化祭を開催する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		人権文化祭来場者数	9,200	9,300	9,400	9,500	9,500	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①人権意識の普及・高揚を図る取り組みとして、第41回鳴門市人権文化祭を開催した。 ②地元NPO法人や社会福祉法人から作品展示への参加について協力を要請し、展示数の維持と内容充実に努めた。 ③市内小中学校、市立図書館、キョーエイ鳴門駅前店4階、堀江公民館や板東公民館での展示に加え、第21回人権セミナー開催時の展示及び生涯学習人権課のイベント開催時にも移動展示を行った。 ④25年度に引き続き小学生児童を対象に同和カルタ大会を開催した。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人権文化祭展示作品数	2,174	1,903	2,200	2,200	2,200	件
	2	人権文化祭講演会来場者数	170	172	170	170	170	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	人権文化祭来場者数		8,943	9,210	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			99.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	0	580	0	0	407	987
		全体予算額	0	580	0	0	407	987
		決算額	0	384	0	0	314	698
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)		総人件費		総事業費	
1.0		0.5		7,890		8,588		

【事務事業名：人権文化祭開催事業】
(千円)

事業費推移	年 度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	627	698	925	925	925
	うち一般財源	276	314	365	365	365
	人件費	7,523	7,890	7,890	7,890	7,890
	総事業費	8,150	8,588	8,815	8,815	8,815

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		同和カルタ大会の実施や移動展の回数を増やしたことにより来場者数は増加した。
	効率性	B:概ね効率的だった		事務量が増加する中、既存の職員数で対応できるよう、事務の効率化を行った。
②成果に対する評価	指標名	人権文化祭来場者数		来場者数は増加したものの目標は達成できなかった。
	目標	9,300	人	
	実績	9,210	人	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		来場者数は増加したが、目標数には達しなかったことから、B評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>これまでの取り組みにより人権意識・人権感覚の向上が図られ、人権教育・啓発の成果はみられるものの、人権侵害の事象は、部落差別における差別落書きやインターネットへの不適切な書き込み等が後を絶たず、また、障がい者問題などにおいても、人権侵害の事象が発生していることを鑑み、なお一層の人権教育・啓発が必要であることから、これらのことを踏まえ、今後も人権文化祭開催事業を継続する必要がある。</p> <p>また、地域における生活上の課題の解決に向けた地域福祉の向上やさまざまな人権問題の解決が求められるなど、隣保館に期待される役割が増大しており、人権文化祭のさらなる拡充も必要である。</p>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	<p>戦後70周年を迎えると同時に戦争は最大の人権侵害でもあることから、戦争の悲惨さを伝えるために、人権文化祭と同時に終戦70周年記念パネル展を開催するとともに、移動展を拡充し来場者の増加を図る。</p> <p>平成26年度の人権文化祭での参加者の感想やアンケート結果などを踏まえ、人権文化祭開催日時の延長や記念講演会を金曜日に実施するなど来場者数の増加を図る。</p> <p>また、新たな社会福祉法人や福祉に係わるNPO法人に出品を依頼し、作品数の増加を検討する。</p>			
	H28年度	<p>より一層の人権意識の普及・高揚を図ると共に、さらなる来場者の増加を図るとともに、人権文化祭開催イベントとして同和カルタ大会に代えて人権クイズ大会を企画するなど、新たな事業を検討する。</p>			